

# 環境水道分科会審査分

< 予算所管 >

環境局

### 【区分の表示】

次ページ以降の資料の（区分）は、以下の内容を示しています

- 「新規」は補正予算で新たに実施する事業です
- 「復興」は熊本地震からの復旧・復興に関連する事業です
- 「流用」は流用により予算執行を行った経費が含まれる事業です ※流用は支出科目の更正のための節の組替等全て含む

区分		
新規	復興	流用

### 【財源内訳の表示】

次ページ以降の資料の（財源内訳）には、下記の金額を計上しています

- （国県）には以下の財源を計上しています

- ・国庫負担金・県負担金--- 国または県が法令等に基づき、義務的に負担するもの  
（例）生活保護費国庫負担金
- ・国庫補助金・県補助金--- 国または県が法令等に基づき、市町村事務経費の一定割合を補助するもの  
（例）道路橋梁費国庫補助金、児童福祉費県補助金
- ・国庫委託金・県委託金--- 国または県から委託されて実施する事務経費の財源  
（例）統計調査費国庫委託金、選挙費県委託金

- （地方債）には以下の財源を計上しています

- ・建設事業等の財源とするための借入金

- （その他）には以下の財源を計上しています

- ・特定の事業の財源となるもののうち、（国県）（地方債）を除くものを計上しています  
（例）施設の管理経費に充てる施設使用料、保育所の運営費に充てる保育料

- （一般財源）には以下の金額を計上しています

- ・（国県）（地方債）（その他）など、事業に充てる特定の収入（特定財源）以外に必要となる金額を示します
- ・一般財源部分は、使途が限定されない収入である「市税」「譲与税」「地方交付税」等により賄われることとなります

左の財源内訳			
国県	地方債	その他	一般財源

環境局

環境局・令和7年度補正予算総括表

1 一般会計

[歳出]

(単位：千円)

款 項 目			款 ・ 項 ・ 目	補正前の額	補正額	補正後の額
25			衛生費	12,769,364	95,356	12,864,720
25	20		清掃費	10,566,281	75,196	10,641,477
25	20	10	清掃総務費	2,006,462	67,620	2,074,082
25	20	15	じん芥処理費	5,136,298	5,254	5,141,552
25	20	20	特別清掃費	3,070,841	1,958	3,072,799
25	20	30	浄化槽管理費	94,831	364	95,195
25	25		環境保護費	2,203,083	20,160	2,223,243
25	25	10	環境保護総務費	1,722,447	19,834	1,742,281
25	25	25	地下水保全対策費	354,756	152	354,908
25	25	30	環境総合センター費	125,880	174	126,054
所管予算合計				18,539,311	95,356	18,634,667

[債務負担行為補正]

(追加分)

(個別事業関連)

(単位：千円)

事項	期間	限度額
燃やすごみ及び紙収集運搬業務委託（令和7年度分）	令和7年度～令和9年度	1,091,500
総合ごみ収集運搬業務委託（富合・城南・植木地区分）	令和7年度～令和9年度	218,800
違反ごみ・災害ごみ等収集運搬業務委託	令和7年度～令和9年度	61,500
資源ごみ収集運搬業務委託（植木地区分）	令和7年度～令和8年度	64,000
資源ごみ分別収集指導業務委託（植木地区分）	令和7年度～令和8年度	5,000
資源物等収集運搬・中間処理業務委託（富合・城南地区分）	令和7年度～令和9年度	164,000

(個別事業関連)

(単位：千円)

事項	期間	限度額
資源物中間処理等業務委託（植木地区分）	令和7年度～令和10年度	55,800
不法投棄監視業務委託	令和7年度～令和8年度	9,500
グローバルネイチャーポジティブサミット広報経費	令和7年度～令和8年度	5,000
大気汚染常時監視自動測定機保守点検業務委託	令和7年度～令和8年度	19,000
大気汚染物質調査業務委託	令和7年度～令和8年度	3,700
外来魚駆除及び魚類生息状況調査業務委託	令和7年度～令和8年度	4,500
家畜排せつ物受入設備復旧工事	令和7年度～令和8年度	12,600
公共用水域環境調査業務委託	令和7年度～令和8年度	7,400
地下水環境調査業務委託	令和7年度～令和8年度	7,400



# 一般会計

<歳出予算>

環境局

[歳出]

(単位：千円)

予算所属	款・項・目・事業名		区分			事業内容	補正前	補正額	左の財源内訳			
			新規	復興	流用				国県	地方債	その他	一般財源
	款	25衛生費					12,769,364	95,356				95,356
	項	20清掃費					10,566,281	75,196				75,196
	目	10清掃総務費					2,006,462	67,620				67,620
人件費						1,997,861⇒2,065,302	1,997,861	67,441				67,441
廃棄物計画課	1	(植木町) 清掃総務費				人事委員会勧告を踏まえた人件費の補正 報酬109、職員手当等52等	3,815	169				169
	2	一般管理経費				人事委員会勧告を踏まえた人件費の補正 報酬10	4,786	10				10
	目	15じん芥処理費					5,136,298	5,254				5,254
廃棄物計画課	1	東部環境工場ごみ処理経費(経常)				人事委員会勧告を踏まえた人件費の補正 報酬103、職員手当等73等	328,513	188				188
	2	ごみ収集経費(経常)				人事委員会勧告を踏まえた人件費の補正 報酬3,310、職員手当等1,518等	183,568	5,066				5,066
	目	20特別清掃費					3,070,841	1,958				1,958
廃棄物計画課	1	指定収集袋製造等関係経費				人事委員会勧告を踏まえた人件費の補正 報酬109、職員手当等52等	376,800	169				169
	2	資源物持ち去り対策経費				人事委員会勧告を踏まえた人件費の補正 報酬942、職員手当等436等	32,546	1,448				1,448
	3	産業廃棄物適正処理推進経費(経常)				人事委員会勧告を踏まえた人件費の補正 報酬109、職員手当等52等	21,120	169				169

[歳出]

(単位：千円)

予算所属	款・項・目・事業名		区分			事業内容	補正前	補正額	左の財源内訳			
			新規	復興	流用				国県	地方債	その他	一般財源
廃棄物計画課 (つづき)	4	埋立処理経費(経常)				人事委員会勧告を踏まえた人件費の補正 報酬112、職員手当等52等	151,012	172				172
	目	30浄化槽管理費					94,831	364				364
浄化対策課	1	一般管理経費(浄化槽)				人事委員会勧告を踏まえた人件費の補正 報酬246、職員手当等102等	7,736	364				364
	項	25環境保護費					2,203,083	20,160				20,160
	目	10環境保護総務費					1,722,447	19,834				19,834
人件費						523,026⇒542,691	523,026	19,665				19,665
環境政策課	1	大気汚染等監視経費				人事委員会勧告を踏まえた人件費の補正 報酬109、職員手当等52等	25,633	169				169
	目	25地下水保全対策費					354,756	152				152
水保全課	1	水源かん養林整備経費				人事委員会勧告を踏まえた人件費の補正 報酬96、職員手当等48等	63,100	152				152
	目	30環境総合センター費					125,880	174				174
環境政策課	1	感染症対策経費(経常)				人事委員会勧告を踏まえた人件費の補正 報酬112、職員手当等53等	11,111	174				174

# グローバルネイチャーポジティブサミット広報経費【11月補正予算 補足説明資料】

## 【事業概要】

「グローバルネイチャーポジティブサミット(以下、サミット)」は、世界の生物多様性の危機に対処し、「ネイチャーポジティブ(自然再興)」=「生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せる」という国際目標を実現するため、世界各地から企業や団体等が参加する国際会議である。2024年にオーストラリアで開催された第1回サミットに続き、応募により第2回サミットの本市開催が決定した。

サミット開催にあたり、市民への周知や参加者へのおもてなしの意を表するため、会場周辺、市街地、空港、駅等において街頭フラッグや歓迎看板の設置、テレビCMなどの広報活動を行う。

## 【広報内容(イメージ)】



○街頭フラッグ



○市役所本庁舎3階横断幕



○熊本駅歓迎看板

## ■日本開催の概要



主催者	ネイチャーポジティブイニシアティブ(NPI) ※世界自然保護基金(WWF)や国際自然保護連合(IUCN)等が発足した、ネイチャーポジティブ実現に向けた調査研究や各国への提言に取り組む国際組織 ※民間開催
共催	国際自然保護連合日本委員会(IUCN-J) ※共催予定:環境省、日本自然保護協会、ICLEIジャパン
日程	令和8年(2026年)7月14日(火)・15日(水) ※7月16日(木)に県内各地のエクスカージョン(現地視察)を予定
会場	熊本城ホール
参加者数	国内外の企業、NGO、研究機関等から <u>1,000人以上</u> の参加を想定 ※外交上セキュリティが必要な要人は参加しない方針
プログラム	全体大会、テーマ別セッション、展示/ポスター、レセプション、エクスカージョン(県内各地)等

## ■第1回サミットの様子(オーストラリア シドニー)



GLOBAL  
NATURE  
POSITIVE  
SUMMIT  
Sydney 2024

(出典: Australian Government DCCEEW)